

医師修学資金(一般修学資金) Q&A

①出願全般について

応募の条件はありますか？

- 茨城県外の大学(大学院を除く)の医学部に在籍する方で、①②いずれかに該当する方
 - 茨城県内の高等学校等を卒業(見込みを含む)した方
 - 保護者が茨城県内に居住している方
- 筑波大学医学部に在学する方(出身地を問わない)

医師修学資金(一般修学資金)と地域医療医師修学資金貸与制度(地域枠)の違いは何ですか？

- 応募の流れ
一般修学資金:大学の一般入試に合格した後に、応募をしていただく制度です。また、在学中からでも借りることが可能です。
地域枠:大学入試を受けるより前に、県面接を事前に受けていただきます。したがって、地域枠の応募機会は大学受験時に限られます。
- 貸与について
一般修学資金:全国どこかの医学部でも対象となります。貸与額は、大学の区分を問わず月額15万円(平成28年度以前入学者は月額10万円)となります。
地域枠:規定の7大学のみが対象となります。貸与額は、国立大学が月額20万円、私立大学が25万円となります。
- 卒業後の従事義務について
一般修学資金:卒業後、貸与を受けた期間と同じ期間(貸与期間が3年未満の場合は3年間)を、特定地域内の指定従事医療機関において勤務
地域枠:卒業後9年間(臨床研修期間を含む)、県内の指定従事医療機関において勤務(9年間のうち4.5年以上は医師不足地域内の医療機関で勤務)

定員はありますか？

例年、20名程度の新規貸与者を募集しています。

募集開始の時期はいつ頃になりますか？

例年、応募期間は3月上旬～中旬としています。詳しい日程については、令和3年1月下旬にイバラキドクターズライフのHPに掲載予定です。

大学の合否がまだ出ていません。応募はできますか？

申込期間中に大学の合格発表前または補欠合格の状況でも応募することは可能です。その場合、県が指定する期日までにその後の状況をご連絡していただく必要があります。

地域枠に合格できず、地域枠ではない大学に合格していた場合、一般修学資金に応募することはできますか？

可能です。ただし、先に実施される地域枠入試に1校でも合格された場合には、地域枠でご入学いただく事となりますので、医師修学資金に応募することはできません。

②在学中について

連帯保証人は父母や父と兄(同居している者同士)等でもなれますか？

原則、独立の生計を営む者と定めており、「別居の者同士であれば生計は別」とみなしております。
ただし、住所が同じ者同士であっても住民票が別世帯に分かれている、公共料金の領収書が分かれていること等が確認できれば構いません。

連帯保証人に年齢制限はありますか？また、親族でないとダメですか？

年齢制限は特にありません。
どなたにでもなっていますが、貸与を受ける方が未成年の場合は2人のうち1人は必ず法定代理人としてください。

留年・休学・停学の場合はどうなりますか？

留年・休学・停学期間は貸与停止となります。

③特定地域について

特定地域での勤務について、臨床研修開始時点の特定地域は2020年現在まだ決まっていないとのことですが、2020年現時点の特定地域を参考までに教えてください。

右図の色付き部分が現在の特定地域です(2020年4月時点)。
2020年4月からの変更点として、以前、特定地域であった「水戸医療圏」が特定地域から外れ、新たに「取手・竜ヶ崎医療圏」が特定地域に加わりました。

今後の特定地域は、厚生労働省が約3年ごとに全国一律の条件で算出する「医師偏在指標」に基づき決定されることとなっていますので、あくまでも参考としてご確認ください。

